

ヒルフェ通信(5月号) ❁そっと寄り添いやさしくサポート❁

「公益社団法人成年後見支援センターヒルフェ」は東京都行政書士会が社会貢献の一環として設立した法人です。



◆新型コロナウイルス感染拡大、緊急事態宣言発令といった状況の中、後見業務も通常とは違った対応を迫られることもあるのではないのでしょうか。ヒルフェ通信ではそのような情報や事例をご紹介します、共有していけたらと思います。

「後見業務の工夫」

例年、冬期は、インフルエンザ等の感染予防のため、施設や病院への出入りが一部制限されておりますが、今期は、コロナウイルスの影響から、ほぼ全面的に立ち入りを禁じております。当然の措置と言えますが、みなさまは後見業務をどのように行っているのでしょうか。

ここ数か月の私の行動です。まず、身上保護について。本人が施設等入居者である場合、ヘルパー等施設従事者に連絡を取り、本人の状況をお聞きしています。普段から、施設関係者のほか、各所と連携を取れる体制にし、問題点を共有しておくことが重要であると実感しています。本人と面会できない場合でも、本人の様子を詳細に具体的に聞き取り、対応を練ることができます。

一方、悩ましいのは、自宅で生活されている方です。コロナは症状なく罹患していることがあるようですので、電車等で移動している我々が、本人と面会して良いかどうか。私は、2月に入ってから、自宅への訪問を控えています。今のところ、電話と郵便、メールで事が足りております。

次に、財産管理について。三井住友銀行では、後見人がネットバンキングを利用できる仕組みができています(保佐・補助についても、代理権が付与されていれば可能です)。後見人等が銀行やATMに行かずに、振込や入出金の確認ができます。また、登録したメールアドレスに、振込や振替の連絡が届くよう設定することができ、便利です。これまでの、後見業務にネットバンキングはご法度という流れから、変化しつつあるようです。特に外出自粛要請が出ている4月時点では、我々を守るという意味で有効です。なお、みずほ銀行は、後見業務におけるネットバンキングは未対応でした(昨年末時点)。

具体例として、被補助人が、自身で口座から現金を引出し、生活費に使用したいが、補助人に、預金口座管理の代理権が付与されている方について、利用しています。現状、通帳とキャッシュカードを本人の管理とし、補助人はWeb上で入出金を確認しています。

補助類型の場合、特に財産管理の線引き(本人か、補助人か)が難しいと感じています。本人の意思を尊重しながら、模索していくしかありません。

会員のみなさまも様々な工夫をされながら、後見業務を続けておられると思います。どうかお体ご自愛ください。(後見事業部 黒澤聡子)

また、このような事例がありました。

「Aさんの場合 任意後見受任者B」

施設に入所しておられるAさん、ご家族はおらず、月に一度の外出で百貨店に行き、外食でお肉を召し上がることが唯一の楽しみであり、生きがいと言っても過言ではありません。

それが、今回のコロナ騒ぎで、施設は面会禁止、もちろん外出もできません。彼女にとっては生活必需品である化粧品を、行きつけの百貨店に買いに行きたいと何度も電話がありました。施設長との数回の話し合いを経て、ご本人にリスクを訴え、Bが代わりに購入し、配送の手続きをすることでしぶしぶ納得いただきましたが、唯一の楽しみを奪われたAさん、先の見えない不安に「今度はいつ行けるの…?」との声にも張りがなくコロナではなく、精神的に参っているようです。

物理的にはいろいろな工夫で解決できても、心情的な面は難しいところです。それでもひとつひとつ、最善と思われる方法を行っていくことしかないのだと思います。

◆ヒルフェからのお知らせ

ヒルフェ事務局の対応につきまして

ヒルフェでは、4月20日現在、新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、下記のとおり事務局の機能を縮小して対応しております。

○火・水・金の事務局の閉局

○月・木は原則来所も、最低限の事務処理のみで時間短縮（3月3日～5月6日、以降は状況により判断）

※ヒルフェへの電話は転送により対応

つきましては、登録の変更や、様々な問い合わせに関しましては可能な限り、下記のメールでのご連絡をお願い致します。また、事務処理に通常より時間がかかる場合がございます。作業を伴う依頼（広報物の送付依頼等）は余裕をもってご連絡下さい。また、メールでのご回答が難しいケースもございますので、連絡先の電話番号も記載ください。

・メール： <mailto:support@hilfe.jp> support@hilfe.jp

（なお、基礎研修等、ヒルフェに関するお問い合わせは会員以外の方でも受付けています。）

本件の対応につきまして変更等がありましたら、メール、HP等でお知らせ致します。

会員の皆様には、ご不便をおかけ致しますが、ご理解ご協力のほど、宜しくお願い致します。